

ロータリーカラブ

便り

奈良西ロータリーカラブ

猪上 正孝さん(50)

法隆寺では毎年文化財防火デーに防火訓練が行われている。平成26年1月26日、斑鳩町法隆寺山内の同寺

に、全国的に文化財防火運動を展開して国民の文化財愛護に関する意識の高揚を図る日として、毎年1月26日とされています。

では、なぜ1月26日なのか。それは昭和24年1

月26日、現存する世界最古の木造建造物の法隆寺

1月26日が「文化財防火デー」ってご存知ですか

の金堂の壁画が火災で焼損した日なのです。この悲しい出来事が契機となり、翌年文化財保護法が制定され、同30年には文化財防火デーが定められました。

毎年この日を中心に、全国的に文化庁、消防庁、都道府県、市町村教育委員会、消防署、文化財所有者、地域住民などが連携協力して、文化財を火災や自然災害などから守るために訓練が行われています。

県では、文化財防火運動をより強力に推進するため、毎年1月23日から29日までを文化財防火週間に制定しています。法隆寺のみならず、県内各

法隆寺金堂火災、機に

地の社寺で、地域の消防組織などと連携したさまざまな想定での防火、防災訓練が実施されます。あらためて言うまでもなく、奈良にはたくさん貴重な文化財が存在します。これらは、長い歴史の中で幾人の先人が保護してきた宝物です。いくためには、関係者の努力だけでなく、地域住民を含む一人一人が、文化財を災害から守るために心配りを、日々から積み重ねていくことが必要です。

II 每月第3月曜日掲載